

No.33 第2769回 令和5年4月3日

今週の歌:君が代・奉仕の理想

**プログラム** 「ゲストスピーチ」  
 (一社)西脇青年会議所  
 理事長 森川元良氏  
 拡大特命室室長 山本真大氏

会長 大西義文 幹事 村上康憲  
 例会日 月曜日 12:30-13:30  
 零会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel:0795(23)2000  
 事務局 西脇商工会議所内  
 〒677-0015 西脇市西脇 990  
 Tel:0795(22)3901 Fax:0795(22)8739

RI テーマ : イマジン ローター ~IMAGINE ROTARY~

### 本月のお祝い

○誕生日 おめでとうございます。

4/15 後藤 高広会員

4/30 来住 周亮会員

○結婚記念日 おめでとうございます。

4/26 八馬 康祐会員

○連続出席 おめでとうございます。

32 ヶ年 中田 善大会員

14 ヶ年 西山 孝彦会員

### 3月27日(月) 第2768例会記録

◎出席・・・会員数 47 名 (出席免除会員 11 名)

出席 37 名 欠席 10 名

### 会長の時間

大西義文会長

日本中に感動を与えてくれました WBC での日本代表チームの活躍は、いろいろな意味でやる気、勇気、元気の気力の強さが源であったように感じました。中でも、栗山監督と村上選手との駆け引きに注目して見ていましたが、スランプに入ってから一歩下がる、下げるのではなく、一歩前に進む、踏み出す力、また信じる力が最大の喜びに繋がったと思います。どんな事でも念ずれば叶う！それが自信に変わるのでしょう。私のテーマでもあります「ありがとう」の感謝でした。

さて、昨日、西脇ライオンズクラブの結成 60 周年記念式典並びに祝賀会に出席させていただきました。長い歴史を辿りつつ、一足先に 60 周年を迎えられたわけですが、お互いに切磋琢磨しながらこれからの活動を頑張っていきたいと思えます。ライオンズクラブは 2 週間ごとに例会が開催されていますが、ロータリークラブでは、毎週の例会を通じて皆



様と密に顔が合わせられる利点があるわけです。会員一人、一人が何よりも健康で集えるありがたさを感じていただきたいと思えますし、それが例会なのかもしれません。

### 幹事報告

(来 信)

○小野加東ロータリークラブより、2023-24 年度 会長幹事会・ガバナー補佐訪問例会・クラブ協議会日程希望予定日のご連絡および藤田次期ガバナー補佐プロフィール

### ニコニコ箱

園田会員 土曜日参加の皆様、お世話になりました。

竹内会員 すみません。バッジ忘れました。

藤原(都)会員 先日、藤原悦男会員からロータリーの歴史の手書きの書面を頂きました。大事にします。

※本日のニコニコ 6,000 円

※本年度累計額 (3/27 現在) 1,225,000 円

🌸 本日の花 : カーネーション・スターチス

### プログラム

○「我々の責務」 来住泰幸会員

人気アイドルグループ「嵐」の二宮和也さん。ニノ君主演の映画が三田で上映されていました。娘に誘われて三田に映画を見に行きました。「ラーゲリーより愛をこめて」です。「ラーゲリー」とはロシア語で「強制収容所」。第二次世界大戦当時、ソビエトは対ドイツとの戦争激化に伴い、満州など東部の戦線における負担を軽くするた



め、日本とソビエトがお互いに侵入しないと約束した「日ソ不可侵条約」を結んでいました。ところが、第二次世界大戦末期、ドイツが降伏すると、昭和20年8月8日、一方的に満州との国境線を越え、戦車で丸腰の満州に侵入してきました。抵抗するすべもなく武装解除命令。抵抗も出来ない婦女子に強奪・乱暴も多くあったとの事です。兵隊は集められ、「日本に送り返す」と言われ、すし詰め貨物列車に乗せられ、知らぬまにシベリアに送られたとの事です。零下40℃にもなるシベリアで、まともな暖房もなく、隙間風の入る収容所に入れられ、僅かな食糧を与えられて、森林伐採やシベリア鉄道の敷設工事に当たさせられました。日本軍属だけでなく、満州国関係者、満州鉄道関係者も含め、約60万人が日本人収容所に送られ、約1割の人が亡くなったとの事です。収容所では共産主義の教育が行われ、共産主義思想に批判的な人の密告も行われ、抵抗する人には帰国の遅延なども行われ、最終的には昭和32年まで、強制労働が行われたとの事です。当時、ソビエトも調印していたポツダム宣言・ジュネーブ条約では、このような捕虜の処遇、強制労働は禁止事項です。

どうしてこのような事が大々的に行われたのでしょうか。また、国際的に黙認されていたのでしょうか。正解は、「ドイツとの戦争で多くの労働力が失われ、ソビエト国内の労働力が不足となったから」と言われています。自分の国の都合、為政者の都合だけの判断です。

第二次世界大戦終結後80年を迎えようとしています。ウクライナにおいても、ウイグルにおいても、自国の都合による目線だけで動いています。これらの国の政治の考え方は変わらないのだと思います。

私の父親も満州の陸軍病院で、非戦闘員の薬剤師校でした。シベリアでの強制収容所に送られ、強制労働を経験してきました。約3年を経て無事日本の土を踏むことが出来ました。そして、今の我々がありません。父親によると、一日食事の黒パン1切れだけのこともあり、飢餓・極寒・重労働の毎日だったとの事です。仲間が次々と亡くなる中で、体を横にすることも出来ない、悔しい毎日だったと言っていました。「当たり前が幸せなんだぞ」とよく口にしていました。

私が高校生の時、ベトナム戦争や安保闘争、学生運動の盛んな時でした。私は、共産党の下部組織「民主青年同盟=民青」に興味をもっていました。父親からは「共産主義だけは絶対容認できない」と

強く意見されていました。

私は昭和28年生まれです。「戦争を知らない子供たち」の世代です。親たちが大変な思いをしてきた戦争体験が、早くも消えかかる所だった、と大いに反省をしています。「もっともっと戦争を知らない子供たち」である、私たちの子供達や、孫たちの世代に、自分自身の爺さん、曾爺さんが体験したことをしっかり伝えなければならないと思います。風化させてはいけなと思います。戦争体験者から直接聞いた、私たち世代の「責務」だと改めて思っています。

ウクライナのゼレンスキー大統領と嵐の二宮君に教えられた思いです。

## ○矢納利夫会員

### ◆「2025年問題」とは？

2025年問題とは、いわゆる「団塊世代」が75歳以上の後期高齢者となり、日本が超高齢化社会になることに付随して起こる問題を指します。団塊世代とは、1947～1949年に生まれた世代を示し、596万人が該当することがわかっています。2025年には、75歳以上の人口が3,677万人に達する見込みで、これは「日本人の3.9人に1人が75歳以上」という社会になることを指しています。このことにより、高齢者のいる世帯のうち、7割が高齢者の独居・高齢者のみの世帯となります。

### ◆「2024年問題」とは？

2024年問題とは、働き方改革関連法によって2024年4月1日以降、自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されることによって発生する問題の総称のことです。これまでトラックドライバーの労働環境は、長時間労働の慢性化という課題を抱えていました。若手不足と高齢化による労働力不足の中、EC市場の急成長による宅配便の取り扱い個数の増加により長時間労働が常態化していたのです。2024年の法施行では自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限を設定することでトラックドライバーの労働環境をよくしようという狙いがあります。一見、物流業界がホワイト化する良いきっかけとなるように思われますが、この法施行によって生じる問題が企業の売上・利益の減少やドライバーの収入減少であり、今後の課題です。

### ◆DX(デジタルトランスフォーメーション)とは？

DXとは、「Digital Transformation (デジタルト



ランスフォーメーション)」の頭文字をとった言葉です。「Digital」は「デジタル」、「Transformation」は「変容」という意味で、簡単に言えば、「デジタル技術を用いることによる、生活やビジネスの変容」のことを指します。DX の概念は、「変容」というところに真意があるのです。

#### ◆なぜ企業はDXに取り組む必要があるか

現在、社内や組織内でDX推進など、DXのための何らかの取り組みを実施しているのではないのでしょうか。実際、多くの企業や組織がDXに取り組んでいますが、何のために取り組んでいるのか、いまいち理解していないというのが本音ではないのでしょうか。

##### ・DX推進の背景

「2025年の崖」という言葉を耳にしたことがありますか？これは、2025年以降、日本国内において最大で年間12兆円という、現在の約3倍もの経済損失が生じる可能性があるという問題を表しています。現状、既存システムの複雑化やブラックボックス化、経営方針と現場サイドの葛藤などの課題があり、これらを克服しなければ経済損失が生じるというのです。

#### ○「縁を考える」永谷 敏会員

今日の地球上の人口は約79億7,600万人です。まもなく80億人となります。一分に156人、一日に22万人、一年で84,000万人増えて、一年で6,000万人が亡くなり一億4,000万人が生まれます。貧富は益々拡大し、気候は不安定、農地は不足し、食料、病院、学校は不足しています。この西脇多可の現状を見ていると、世界でおこっていることを見誤るかも知れませんが、今日の地球上に現出し、人の生活が、天と地、言い換えれば太陽と地球の恵みを越えて行きそうです。

「戦争なんかしている場合ではない」と明言できます。

その一人一人の祖先について考えると、一人には必ず(必ずにしときます)父母二人があり、祖父母四人があります。十代前では1,024人、20代前では1,048,576人と百万人を超えます。その一人でも欠けていたら、自分が存在していないということは、



だれもが理解できるところです。そのことは、2019年の8月に会長の時間を借りてお話した通りですが、どんどん代が上がると大変な数となります。

今日のホモ・サピエンスは、6万年前のアフリカからの単一起源説が主流であります。それは極めて少数の人から世界全体に広がったとされています。

ここで、すっきりしないことが数学上、生じてきます。6万年という時の流れで、明確にしないといけないことがあります。輪廻転生とかも含めて、今日帰られましたらよくよく考えて欲しいのです。

人類は、みな縁でつながっており「八紘一宇」(はっこういちう)の考え方は正しいと言えます。

この80億人の身の上に降りかかっていることに、深い関心を持つと、ロータリーとしてもできることは多いことがわかってきます。個人としても、一つでも寄り添い、あるいはまた、自分の身の上で起きている問題を、深い深い因縁の結果としてとらえていって、何故、そういうことが起こるのかということを、アカシックレコードあるいはユングの言う集合的無意識がわからなくても、解する努力をして行きたいものです。

できることなら、人として、視点を高くして、深く遠くまで慮ることによって、嫉妬心、口論、諍い(いさかい)、殺人、戦争、混乱、羨望、貪欲、恨み、こうしたものを一掃することは可能です。そして、それに代わって思いやりの心、親切、優しさ、友愛、協力、共生の精神によって、生活のすべてを律することができます。その根幹として、一人一人の「良心」(真心)において、人類は一つであるとの認識が必要です。

ロータリーが長く続いているのは、その様なものを養う時間を持てるからに他ならないのではないかと考える今日この頃です。

#### お知らせ

##### ◎60周年記念式典

4月15日(土) 15:00～ 於：アピカホール

##### ◎60周年記念祝賀会

4月15日(土) 17:00～ 於：ロイヤルホテル

##### ◎60周年記念講演会

4月22日(土) 12:00～ 於：オリナスホール

#### 今後のプログラム

4月10日(月) 担当：60周年実行委員会

4月22日(土) 創立60周年記念講演会

4月15日(土) 創立60周年記念式典・祝賀会

5月1日(月) 休会

大西会長のテーマ：「ありがとう」の感謝！ Enjoy Rotary Life